

J Aが中心となった飼料用専用品種の試験栽培（J A埼玉中央）

- 1 市町村 比企郡川島町
- 2 取組主体 J A埼玉中央
- 3 取組開始年 令和5年
- 4 取組内容
組合員との話し合いを行い、飼料用専用品種の試験栽培を実施

(1)導入作物（導入面積・選定した理由）

作物：水稻（飼料用専用品種「ミズホチカラ」試験栽培）

導入面積：562a（令和5年産）

選定した理由：主食用米から新規需要米への転換に際して専用品種の導入が推進されている。

飼料用米に係る交付金の見直しが行われ、一般品種の場合は令和6年産から令和8年産まで毎年10a当たり5,000円ずつ減額されることとなった

このため、飼料用米専用品種「ミズホチカラ」の試験栽培を行い、当地域への導入を目指す。

なお、品種特性は「笑みたわわ」と似ており、米粉適性もある。

(2)集荷

J A埼玉中央川島CE

(3)実施地区と耕種概要

地区名	移植日	施肥量 (N.P.K)	備考
比企郡川島町	5/30~6/3	30-6-6 40kg/10a	箱剤エバーゴルワイド 除草剤カウンシルエナジー

(4)生育状況

田植え(移植)：令和5年5月30日~6月3日

開花時(8月26日)穂長が長く、多収が期待できる。

水が必要な時期に水不足となり、粒の肥大化が心配される。中干が強い収量等は笑みたわわと同程度。

(5)出荷実績

地区名	合計	ふるい上	ふるい下	単収	備考
比企郡川島町	32,881kg	30,823kg	2,058kg	548.5kg	

(6) 令和6年産 取組み結果

地区名	契約面積	ふるい上	ふるい下	合計	単収
川島町正直	110,966 m ²	49,464kg	3,554kg	53,018kg	477.8kg

川島町の基準単収：477kg

- 令和6年産では、イネカメムシの被害が散見され収穫が遅い品種ほど被害が大きくなった。

ミズホチカラでも不稔が多く、前年に比べて収量は大きく減少したが一般主食品種に比べて収穫量は確保できた。

(7) 令和7年の取組は未定